

はしがき

■ 編集の趣旨 ■

英語の文章を読んでいて、「1つ1つの文の意味はだいたいわかるのに、文と文のつながり具合がよくわからない」とか、文章全体で筆者が何を言おうとしているのかが理解できない」といった感想を持つことはありませんか。本書はそのような感想を持つ皆さんが、**文と文のつながり方（文の結束性）**を学習し、その技法を実際の入試問題に用いてみることにより、入試に通用する実践的な英文読解力を身に付けることを意図して作ったものです。

本書は、「**集中2週間完成**」シリーズの一冊として、主として受験を控えている高校3年生を対象にして編集しました。

■ 本書の特色 ■

本書では、**文と文のつながり方**を次のように分類して、順次学習していきます。

- ① **情報構造上のつながり**（隣接する2文の旧情報と新情報のつながり）
- ② **論理的なつながり**（隣接する2文の因果・対比・逆接などの論理的なつながり）
- ③ **パラグラフの主張とその根拠**（パラグラフの主題文と支持文のつながり）

全体を、上記の学習テーマにそって3つのUNITにわけて構成し、各学習日の冒頭に**KEYS to Reading Comprehension**の欄を設け、**文の結束性の要点**を簡潔に示し、その技法を体系的に学習できるようにしました。巻末の**APPENDICES**では、本書で学習した重要項目のいくつかを復習し、またそれを応用して問題が解けるように配慮しています。

問題本文は**論説文**を中心に、国公立大学入試の比較的難易度の高い過去問から採りました。内容はUNIT ONEとUNIT TWOが**文化（言語・教育など）**、**日常生活（家庭）**、**自然（動物・環境）**、UNIT THREEとAPPENDICESが**文化（人生論・幸福論など）**、**日常生活（健康・医療など）**、**社会**、**科学技術**、**産業**に関する文章となっています。設問形式は、**記述問題**が中心ですが、**選択問題**も採り入れてあります。本書の趣旨を生かすために、変更、改題している場合があります。

『別冊解答書』は、**〈解答〉〈考え方〉〈語句・表現〉〈全訳〉**を収録したほか、**文と文のつながり**具合を徹底して理解するために、**図表・チャート**を用いて丁寧に解説しました。

英文を読むときは、いつも隣接する文と文のつながり具合に注目し、文章全体の大意を読みとる習慣を付けることが大切です。本書によって、そうした読み方を学んで、英文を読む楽しさを味わっていただくとともに、それを入試にも役立てていただけたら、これほど嬉しいことはありません。

編者しるす

CONTENTS

UNIT ONE	第1日	しりとり型	4
情報構造上のつながり	第2日	次文説明型（1）：具体的に説明	6
	第3日	次文説明型（2）：理由を説明	8
	第4日	次文説明型（3）：「数詞＋名詞」を説明	10
	第5日	同一主語型	12
UNIT TWO	第6日	言い換えによるつながり	14
論理的なつながり	第7日	追加・列挙によるつながり	16
	第8日	逆接によるつながり	18
	第9日	対比によるつながり	20
	第10日	因果関係によるつながり	22
UNIT THREE	第11日	主題文（主張）の位置	24
パラグラフの主張とその根拠	第12日	主張を表す語句	26
	第13日	主張を導く道しるべ語	28
	第14日	疑問文（話題）とその答え（主張）	30
APPENDICES ①	応用問題（01）		32
APPENDICES ②	応用問題（02）		34
APPENDICES ③	応用問題（03）		36
APPENDICES ④	応用問題（04）		38

UNIT ONE :

情報構造上のつながり

UNIT ONE の学習ポイント

- Ⓐ 文を情報という視点から分析すると、1つの文は旧情報と新情報の2種類の情報から成り立っている。旧情報とは、①文章の中ですでに述べられた事柄 ②周知の知識 ③話の出だし、などである。新情報とは、文章の中で初めて述べられた事柄で、情報価値が高く、書き手が読み手に伝えたい情報の核心である。
- Ⓑ 情報の配置は、通常、旧情報⇒新情報である。読み手が受け入れやすい旧情報を先に述べ、注目させたい重要な新情報を後で述べる。文末に近いほど重要度は高まる。
- Ⓒ 旧情報になるのは、文頭の主語や副詞句などである。
- Ⓓ 新情報になるのは、通常、動詞以降の部分である。
 Ex. This (話の出だし) is Mr. Chips. He (Mr. Chips を受けて) is a teacher of Latin.
 (文頭の主語が旧情報、動詞以降が新情報)
 * 副詞、副詞句が文頭にあるときは、その後の「主語+述部」が新情報。
 Ex. One morning I awoke to find myself famous.
 * 1文に複数の節(S+V)があるときは、最後の節が新情報である。
 Ex. 1 Even if you despair, work on in despair. (たとえ絶望しても、絶望の中で働き続けよ。)
 Ex. 2 I believe that yet the earth does move. — Galileo Galilei

第1日 しりとり型

30分 /50点

KEYS to Reading Comprehension

- 01. 新情報 (あるいはその末尾の部分。以後、「or その末尾」と略記する) は、それ以降の文の内容とつながっていく。そのつながり方は、しりとり型と次文説明型の2種類がある。
- 02. しりとり型では、新情報 (or その末尾) が次の文の冒頭部で旧情報として受け継がれる。本課では this / that / these / such などの代名詞 (→Ex. 1) や「this / that / these / such + 名詞」(→Ex. 2) などで受け継がれる文を学習する。
 Ex. 1 Health is better than wealth. This does not give so much happiness as health.
 (This は、太字の新情報を受け継いだ旧情報)
 Ex. 2 We know that Japan's standard of living has risen since the beginning of the 20th century. This growth has been made possible by rapid industrialization. (This growth は、太字の新情報を受け継いだ旧情報)

演習問題01

Human speech differs from the cries of other species in many ways. One very important distinction is that all other animals use one call for one message as the general principle of communication. (1) This means that the number of possible messages is very restricted. If a new message is to be included in the system, a new sound has to be introduced, too. After the first twenty or thirty sounds it becomes difficult to invent new 5 distinctive sounds, and also to remember them for the next time they are needed.

Human speech builds on the principle of combining a restricted number of sounds into an unlimited number of messages. In a typical human language there are something like thirty or forty distinctive speech sounds. (2) These sounds can be combined into chains to form a literally unlimited number of words. (3) Even a small child, who can communicate 10 by using only one word at a time, uses a system for communication that is infinitely superior to any system utilized by any other animal. The number of words is (a), while other species have a very (b) number of signals.

In addition to this, human languages also allow several words to be combined into a statement. Through this process we are able to create an infinite number of sentences 15 with even a small number of words. (4) This basic property of our languages allows humans to express ideas that can be as complex and as subtle as anyone wants. The system has no theoretical limit as to what messages can be conveyed. In principle, anything can be said. (鳥取大)

問1 下線部(1)は具体的にはどのようなことを指すか。日本語で説明せよ。(10点)

問2 下線部(2)はどのような sound のことか。日本語で説明せよ。(10点)

問3 空白部 (a) と (b) に、適切な単語を本文中の他の箇所より探して書き入れよ。(5点×2)

(a) _____ (b) _____

問4 下線部(3)を和訳せよ。(10点)

問5 下線部(4)は具体的にはどのようなことを指すか。日本語で説明せよ。(10点)

